

平成21年度も残りわずかとなりました。『梅二 体力向上プロジェクト』という研究主題のもと、**体育の授業改善**・**健康の増進**・**日常的な取り組み**の3つのプロジェクトを柱として研究を進めてきた1年間を振り返ってみたいと思います。

☆体育（体づくり運動）の授業研究を通して、低・中学年では体を動かすことが好きな児童、高学年では体力の高まりを実感できる児童の育成を目指しました。

☆正しい歯の磨き方、健康な食生活、豆の栄養についての授業研究を通して、健康の大切さを知り実践する児童の育成を目指しました。

☆授業以外の日常的な取り組みとして、毎週水曜20分休みの「ランランタイム」、荒川河川敷での持久走記録会、梅二っ子班ごとの大縄遊び、そして毎週火曜日は「活発に遊ぶ日」として昼休みを5分延長するなど、児童が体を動かして楽しめる機会を増やすことに努めました。

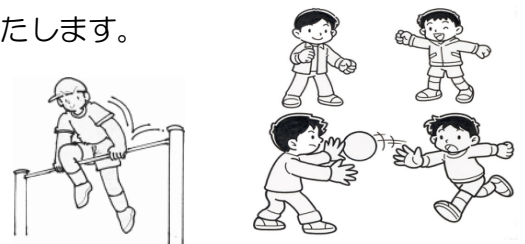
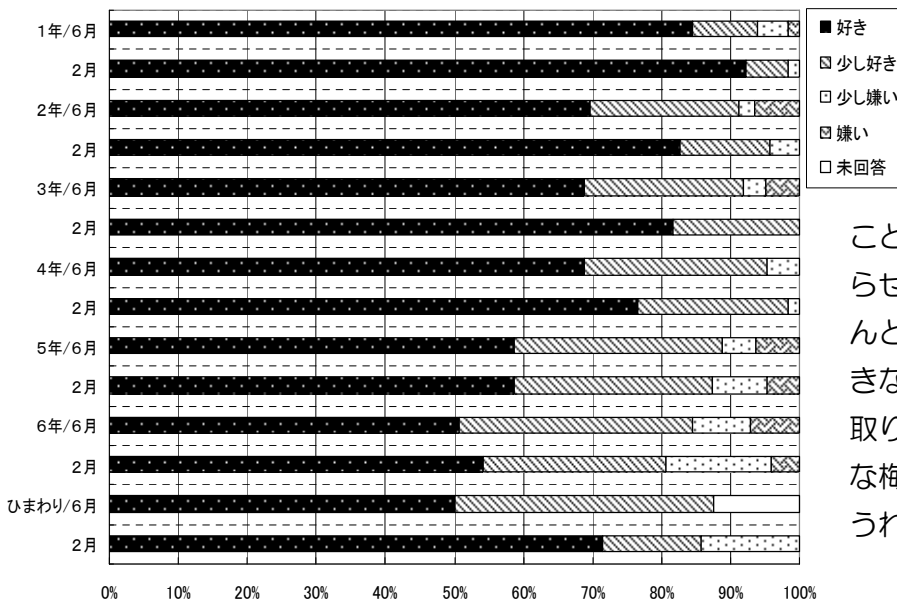
☆「梅二のよい子のやくそく（1～3年生は9時・4～6年生は10時までに寝て、7時までに起きる）」を守り、元気キラキラ健康カードに取り組むことを通して生活習慣を整えることに努めました。

特に今年度は、研究授業の参観・元気キラキラ健康カードをはじめとする各家庭での実践へのご協力をいただき、ありがとうございました。

学力は、机に向かって学習しているだけではつきません。学校ではわかりやすい授業を目指して授業改善を行います。学習を継続していくためには健康な体・気力が不可欠です。健康を維持するための規則正しい生活習慣や体力が、学力向上の根底にあると考えています。梅二小では来年度も『梅二 体力向上プロジェクト』のもと、学校や友達が好きで、はつらつと学校生活をおくる梅二の子が一人でも多くなることを目指して研究を進めてまいります。そのために、地域・保護者の皆様にご理解ご協力をいただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

児童の意識調査から

体を動かすことが好き



昨年の6月と今年の2月に全校児童を対象として、体育・健康についての意識調査を行いました。

そのうちの1項目、「体を動かすことが好きですか」についての結果をお知らせします。6月と2月を比べると、ほとんどの学年において、体を動かすことが好きな児童の割合が増えています。今年度の取り組みによって、体を動かすことが好きな梅二の子が少しでも増えたのであればうれしく思います。